

## シンポジウム

区民・事業者と協働して公園づくりを進めていくスタートとして、令和元年9月にシンポジウムを開催しました。近年の公園づくりの事例や傾向、住民参加の公園づくりについて専門家の方のお話いただきました。約90名の参加者とともに意見交換を行い、これからの区民と協働の公園づくりについて考えました。

### 基調講演

#### 「公園革命時代のこれからの公園」

講演者：進士五十八氏（東京農業大学元学長）

<これからの公園づくりの視点>

- ・公園だけを見るのではなく、世田谷区全体、東京全体を考える必要がある。
- ・様々な要望をただ受け入れるのではなく、その土地に根付いたその土地ならではの一品生産ということを大切にす。



### パネルディスカッション

#### 「区民との協働による公園づくり」

コーディネーター 保坂展人（世田谷区長）

パネリスト 阿部伸太氏（東京農業大学准教授）、坂倉杏介氏（東京都市大学准教授）  
寺崎百合氏（二子玉川公園サポーター）、寺田良喜氏（世田谷区学芸員）



<公園の将来像について>

- ・既存のみどりや既存資源を踏まえつつ、みどりのネットワークに着目すること、地域の核、暮らしの舞台として公園を考えることが大事である。
- ・私たちが玉川野毛町公園に期待するもの、本当に創り出したい未来がどういうものなのかをしっかりと考えることが最初の一步である。その後カタチを決める、機能を決める等の進め方が必要ではないか。
- ・野毛大塚古墳は古代権力者のお墓であり、かつてからこの土地のシンボルであった。
- ・二子玉川公園では住民が公園サポーターとして公園活動を実践している。

## 公園計画ワークショップ

公園の将来イメージを描くワークショップを、コロナ禍による開催延期の影響もありましたが、令和元年11月～令和2年10月にかけて計4回行いました。参加応募者54名とともに、「公園づくりの考え方」、「公園計画イメージ」をとりまとめました。

### ・公園づくりの検討

第1回

参加者45名

知る

公園予定地を知る

みんなの意見を聞き共有する

第2回

参加者37名

考える

どんな公園になってほしいか考える

公園での活動と空間イメージを考える

### ・公園計画イメージ(案)の検討

第3回

参加者29名

えがく

将来像(あるべき姿)をえがく

公園計画イメージ(案)について考える

第4回

参加者29名

イメージする

えがいた将来イメージを現地で確認する

今後の活動についてイメージする



公園づくりの考え方



公園計画イメージ

### 主な意見



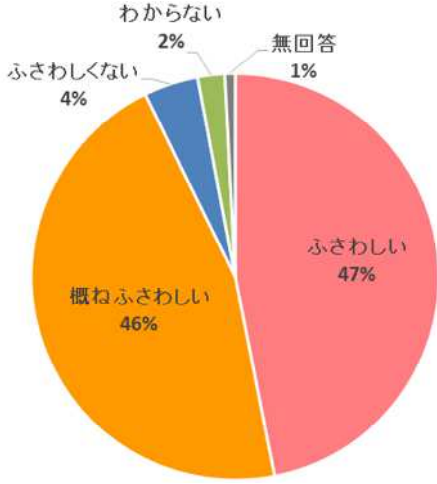
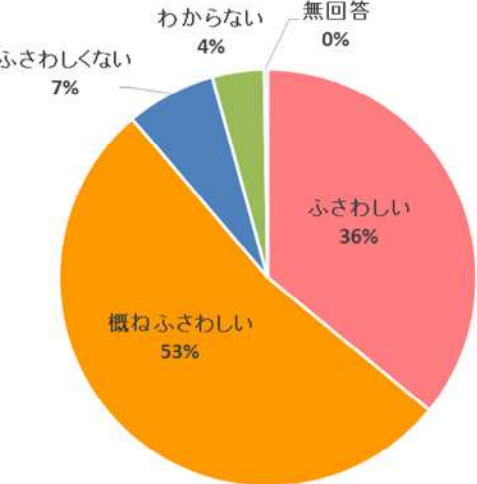
- ・ 区民が主体的に公園づくりにかかわる、公園を通じて地域とのつながりをもつ
- ・ 区民や事業者の関わりでここにしかない魅力ある公園をつくる
- ・ 整備時点で作りこみすぎず、少しずつ公園づくりが行える余白がある。その余白をいかしながら、住民や事業者がともにつくり進化し続ける野毛町公園としていく
- ・ 公園の将来像として、100年後も良いと思える公園づくりを実現する
- ・ コロナ禍における公園づくり、身近なみどりとオープンスペースの重要性の再認識

ワークショップで明らかになった公園づくりの視点を「ともにつくる、ともにあゆむ公園づくり」として、公園づくりの方針に追加することとしました。

## 基本計画策定に向けたアンケート調査

令和3年2月、基本計画の策定に向け、区民や民間事業者との対話をもとにとりまとめた「公園づくりの考え方」、「公園計画イメージ」について広く意見を聴取するため、近隣（約13,000世帯）及び現場見学会参加者（約600名）を対象にアンケート調査を行いました。【回答：374件】

### ・アンケート結果

公園づくりの考え方について	公園計画イメージについて																								
																									
<p>問 公園づくりの考え方はふさわしいか</p>  <table border="1"> <caption>公園づくりの考え方はふさわしいか</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ふさわしい</td><td>47%</td></tr> <tr><td>概ねふさわしい</td><td>46%</td></tr> <tr><td>ふさわしくない</td><td>4%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>2%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1%</td></tr> </table> <p>92%がふさわしい、概ねふさわしいと回答</p>	回答	割合	ふさわしい	47%	概ねふさわしい	46%	ふさわしくない	4%	わからない	2%	無回答	1%	<p>問 公園計画イメージはふさわしいか</p>  <table border="1"> <caption>公園計画イメージはふさわしいか</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ふさわしい</td><td>36%</td></tr> <tr><td>概ねふさわしい</td><td>53%</td></tr> <tr><td>ふさわしくない</td><td>7%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>4%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0%</td></tr> </table> <p>89%がふさわしい、概ねふさわしいと回答</p>	回答	割合	ふさわしい	36%	概ねふさわしい	53%	ふさわしくない	7%	わからない	4%	無回答	0%
回答	割合																								
ふさわしい	47%																								
概ねふさわしい	46%																								
ふさわしくない	4%																								
わからない	2%																								
無回答	1%																								
回答	割合																								
ふさわしい	36%																								
概ねふさわしい	53%																								
ふさわしくない	7%																								
わからない	4%																								
無回答	0%																								
<p>【評価された点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のみどりをいかした計画</li> <li>・作りこみすぎない公園づくり</li> <li>・100年後も良いと思える公園づくり、区民が関わり公園を育てていく取り組み</li> <li>・子どもからお年寄りまで利用できること など</li> </ul>	<p>【評価された点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどり豊かな計画</li> <li>・広々としたオープンスペースを確保した計画</li> <li>・散策やピクニック、子どもがのびのび遊ぶことができる計画 など</li> </ul>																								
<p>【主なご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今ある樹木をいかし、四季折々楽しみ、生きものと触れ合える公園に</li> <li>・バリアフリー、障がいがある方への配慮</li> <li>・飲食や物販店などの設置</li> <li>・災害時の防災機能</li> <li>・ドッグランの設置や犬を連れた公園利用 など</li> </ul>	<p>【主なご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区道を挟む公園の一体性や道路横断の安全性の工夫</li> <li>・通り抜けの利用や夜間の通行などを考慮した安全・安心に歩けるづくり</li> <li>・地域の特徴や地域のニーズを踏まえた便益施設のあり方や公園利用の検討 など</li> </ul>																								

### (3) 基本計画への反映

アンケートでいただいたご意見を、基本計画へ反映しました。

基本計画に反映した主なご意見	【記載先】
雨天時にも公園を楽しめる施設の導入	【 p 2 4 参照】
カフェやレストラン、コンビニ等の飲食物販施設の導入	【 p 2 4 参照】
トイレの整備	【 p 3 1 参照】
必要な駐車場台数の確保	【 p 3 1 参照】
誰でも利用できるユニバーサルデザインの整備	【 p 3 2 参照】
水と親しめる施設の整備	【 p 3 2 参照】
コロナ禍を踏まえた公園づくり	【 p 3 2 参照】
SDGs（持続可能な開発目標）の推進	【 p 3 2 参照】
電線の地中化	【 p 3 3 参照】
散策やウォーキングの利用、ベンチなどの休憩施設の整備	【 p 3 3 参照】
様々な公園利用を実現するための区民協働の取り組み	【 p 3 5 参照】
ボランティア活動をコーディネートできる事業者のサポート	【 p 3 5 参照】

## (4) 専門家の助言

### ■ 坂倉杏介 専門：コミュニティデザイン（区民協働）

東京都市大学准教授

シンポジウムに参加した際、「私たちが野毛町公園に期待するもの、本当に創り出した未来がどういうものなのかをしっかりと考えることが最初の一步である」とお話ししました。その後の公園計画ワークショップにも参加し、お互いの考え方をすることで、公園に対する想い、心配する点など立場によって意見は様々ですが、「ともにつくる、ともにあゆむ公園づくり」という新たな方針を共有し、この場所にふさわしい100年後の未来のことをしっかりと考えた基本計画ができたと思います。

今後、具体的な公園づくりに入っていきますが、本当に必要で作り出したい未来を区民と実際に活動しながら、公園の使い方や施設について考え、公園設計に反映できると良いと思います。

#### 【基本計画への反映事項】

- ・ともにつくる、ともあゆむ公園づくり【p16】
- ・公園の魅力を高め、広げる取り組み【p35】



### ■ 中林一樹 専門：防災計画

明治大学 研究・知財戦略機構 研究推進員（東京都立大学・首都大学東京名誉教授）

公園のつくりや使い方に関しては、ワークショップ等を通して、区民の皆様のご意見を踏まえた計画になっていると思います。

公園は「つくる」「使う」だけではなく、「はぐくむ」ことが重要で、災害時においても、日常的に公園に関わり、公園を隅々まで知っている方が多いほど、公園の防災機能が発揮されることとなります。100年という時間を見据え、区民とともにどう「はぐくむ」のかについて、災害時の活用計画を区民と協働して立案し、活動することも良いと思います。

また、水害・地震火災時に、「緊急対応期」「避難生活期」「仮住まい期」の時系列での変遷に対応した、この公園に求められる必要な防災機能や位置づけを関係部署との連携を図りながら明確にすることが重要です。

そのような災害時活用計画が設計に反映されると、日常時も災害時も地域の価値を高める公園になると思います。

#### 【基本計画への反映事項】

- ・地域防災に役立つ施設【p30】
- ・豪雨対策に役立つ施設【p30】



## Ⅰ 学芸員 専門：歴史・文化

### 世田谷区教育委員会事務局生涯学習・地域学校連携課文化財係

今から約1600年前に造られた野毛大塚古墳は、当時多摩川流域の南武蔵を治めていた強い政治力・経済力を持つ首長のお墓です。古くから地域とともにあった古墳ですが、100年前に都内でも重要な遺跡として改めて認識され、地域で保存活用がなされてきました。平成元年からの保存整備事業によって、元の墳丘に土を覆う形で古墳を保護し、都内でも珍しい墳頂まで登れる古墳として整備を行いました。

現在にいたるまでの長い間地域で守られてきた野毛大塚古墳を、今後100年以降も地域で守り、語り継ぎ、未来まで保存していく計画がさらに進むことを期待します。

#### 【基本計画への反映事項】

- ・地域の歴史を学び、伝える場【p28】
- ・古墳の保全【p28】

## Ⅱ 阿部伸太 専門：公園計画 <拡張事業計画の監修>

### 東京農業大学准教授

かつて古墳がつくられた時代は、自然との関わりが重要だったと思います。古墳をランドマークとしながら、この場所に長い間生長してきた樹木やその樹木から漏れる光、雨水の流れ、そこに生息する鳥や昆虫など様々な自然に触れることで、歴史を感じることができるのではないのでしょうか。

また、コロナ禍を通じて公園の使い方も変わってきています。木陰で気持ちよく過ごせたり、仕事ができたり、気軽に立ち寄れる場所があったり、自宅以外で日常的に過ごせる場所がこの公園にあると良いと思います。

区道で分断された公園の一体性、広場やエントランスと古墳のつながり、この地の森づくりに適した樹木の選定、夜間の安全への配慮、災害時の使い方、周辺との関係に配慮した接道部のデザイン等、今後の設計段階で検討すべきことはたくさんあると思いますが、100年後もよいと思える質の高い公園をつくるために、公園を暮らしの舞台として、区民とともに引き続き考えていくことが大切です。

#### 【基本計画への反映事項】

- ・古墳とのつながりを意識した空間づくり【p28】
- ・コロナ禍における新しい生活様式を踏まえた公園整備【p32】
- ・公園内外のランドマークや景観を意識した公園整備【p33】

#### 《各分野の専門家の意見を受けて》

各分野の専門家の意見を踏まえると、「周辺を含めたこの場所の特性を理解すること」、「地域との関わりを大切にしながら育てていくこと」が重要な視点であると感じました。これらの視点は、基本計画に反映されており、今後、設計段階において住民参加を得ながら熟度を高めていくことを期待します。

## 4. 公園づくりの考え方

### (1) 公園づくりの目標

世田谷の先人たちを育んだ  
豊かなみどり、歴史文化を区民の手で大切に育み、  
100年後も地域に愛される公園を目指します。

### (2) 公園づくりの方針

#### 取り組み方針

##### ともにつくる、ともにあゆむ公園づくり

公園を身近な暮らしの舞台ととらえ、区民や事業者が主体的に関わり、公園の利用や活用を通じて、地域がつながり、楽しみひろがる魅力ある公園運営を行います。つくりこみすぎず、人との関わりにより少しずつ公園を育み、「余白をいかした公園づくり」を目指します。

#### 公園整備の方針

##### みどりとみずのネットワークづくり

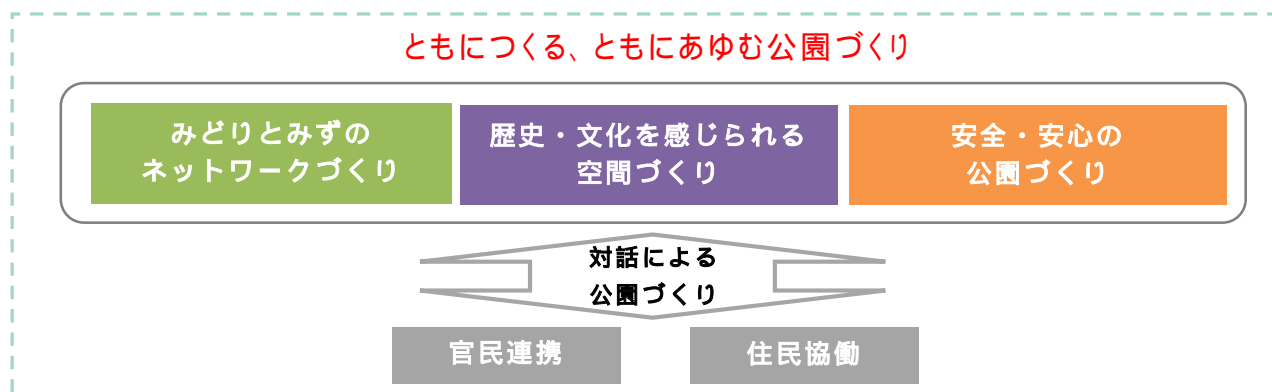
国分寺崖線のみどり、等々力溪谷の豊かな自然とつながります。草地から森まで多様なみどりをみんなでつくり、子どもから大人まで憩い楽しめる活動、自然の遊び、学びの場をつくります。

##### 歴史・文化を感じられる空間づくり

野毛大塚古墳等の文化財を通して、多摩川や国分寺崖線等の自然環境と歴史文化を守り伝える取り組み、学ぶ機会をつくります。また、野毛大塚古墳をシンボルに、公園と古墳がつながる景観をつくります。

##### 安全・安心の公園づくり

誰でも安心して訪れることができる公園をつくります。災害に備えた防災機能をもち、地域の防災活動拠点として活用できるよう、広域避難場所、緊急輸送道路の特性を踏まえた災害に役立つ拠点をつくります。

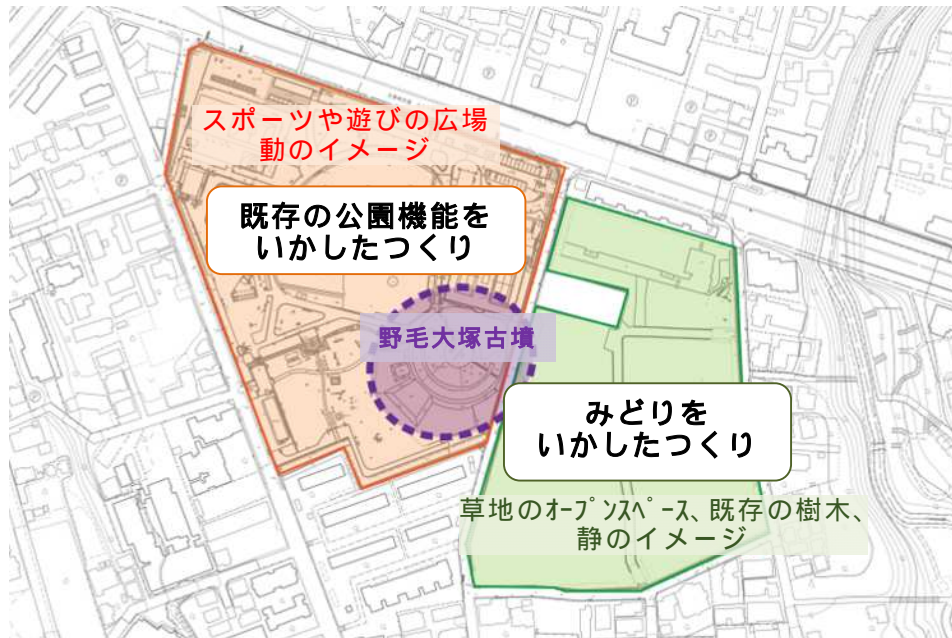


公園拡張計画の進め方（イメージ）

## 5 . 公園の基本構成

### ( 1 ) 公園の特性

中央に位置する野毛大塚古墳を公園のシンボルとし、既開園区域はスポーツや遊びの広場など既存の公園機能をいかしたつくりとします。また、拡張予定地は草地のオープンスペースや既存の樹木などみどりをいかしたつくりとします。



公園の特性イメージ

### ( 2 ) 公園の空間構成

公園の外周部には大きな樹木を配置します。また、中央部は草地のオープンスペースや野球場をいかして、開放的なオープンスペースとします。

あわせて、公園全体を回遊できる園路を設け、公園の一体性を図ります。





### (3) 公園の土地利用計画

玉川野毛町公園の土地利用計画を以下に示します。



#### 等々力溪谷とつながるみどり

拡張区域は、等々力溪谷とつながるみどりを創出し、草地のオープンスペースから既存の樹木をいかした樹林地まで多様なみどりをつくります。

#### 公園の顔となるエントランス

既開園区域と拡張区域、等々力溪谷と一体として公園をつなぐ「公園の顔となるエントランス」をつくります。

#### 公園のランドマークとなる野毛大塚古墳

特徴的な野毛大塚古墳の形をいかし、公園のランドマークとなるよう公園づくりを行います。

#### 公園と住宅地の敷地境界部

公園と住宅地の敷地境界部は、公園のみどりをいかした良好な景観を形成します。

#### 便益・サービスの拠点

公園の顔となるエントランスの中で、人の行き来のある環状八号線と区道が交わる野毛交差点の交通結節点をいかし、公園の魅力を高められるよう「便益・サービスの拠点」をつくります。

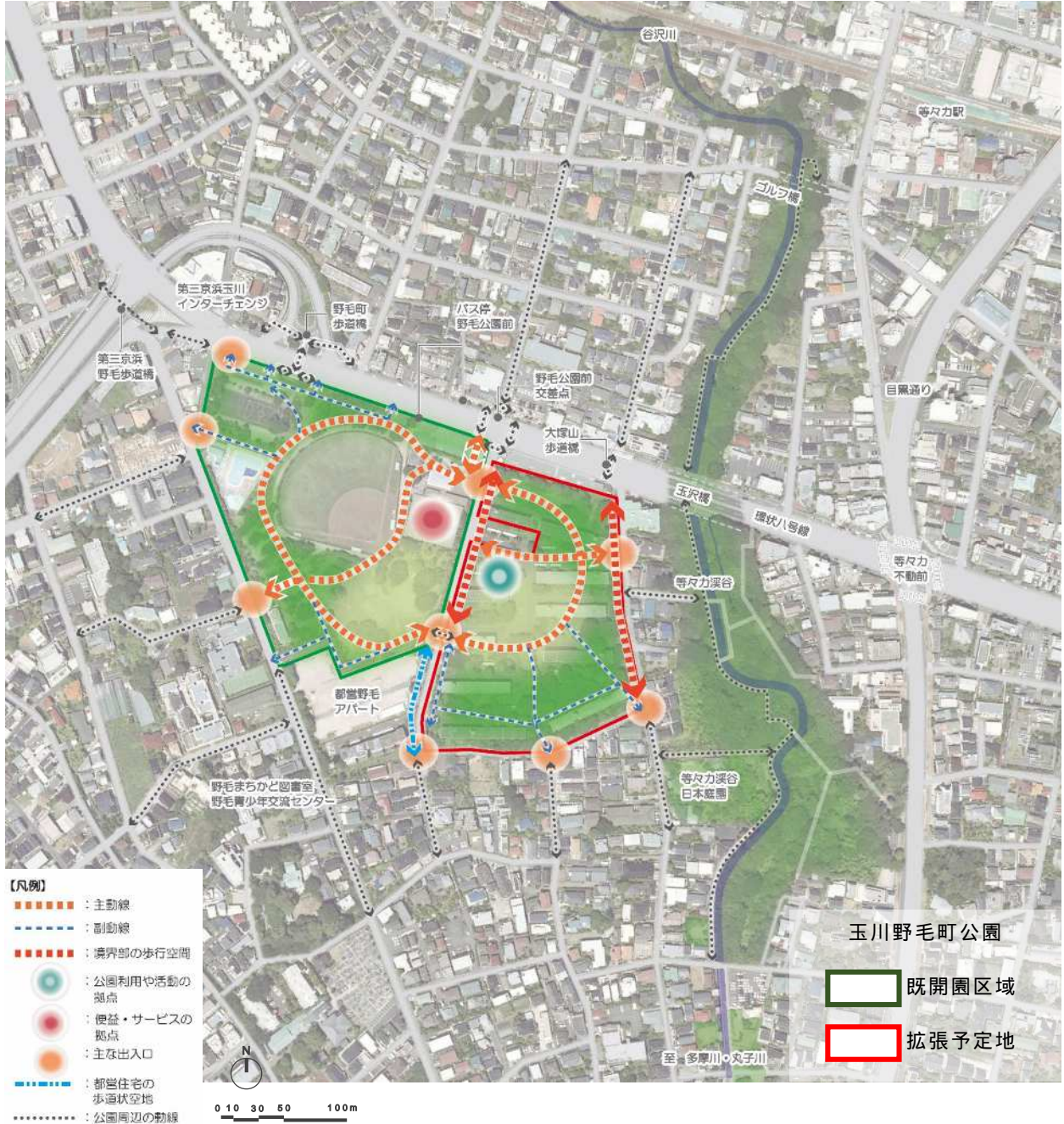
#### 公園利用や活動の拠点

玉川野毛町公園と等々力溪谷を一体としてとらえ、中央に位置する草地のオープンスペースに、様々な公園活動が行えるよう「公園利用や活動の拠点」をつくります。

#### (4) 公園の動線計画

公園周辺からアクセスしやすい場所に入出口を配置します。そして、出入口や園内の主要施設の行き来を考慮し、主動線・副動線を設定します。動線を設定する際、既開園区域と拡張予定地を一体的に結び、公園の回遊性を高めます。

なお、拡張予定地西側及び東側の道路沿いに歩行空間を設けます。



周辺の動線と公園内の動線計画

## 6. 公園の計画イメージ

### (1) 基本計画図

「4. 公園づくりの考え方」「5. 公園の基本構成」をもとに、下図のように拡張予定地の基本計画図を取りまとめました。  
また、公園の一体性やエントランスの魅力を高めるため、既開園区域の一部もあわせて基本計画を検討しました。

